厚生労働省委託事業　平成22年度キャリア教育専門人材養成事業

※実際の「キャリア教育実践講習」におけるカリキュラムです。

キャリア教育実践講習のカリキュラムの流れとテキスト台割

（目的）　キャリア形成の流れに則り、キャリア教育を実践する上で必要な知識・実践力を養う。
本講習を通して、高校教員及び外部専門人材が交流し、意見交換を行うことでより効果的なキャリア教育が実現出来るよう支援する。

第一部＜明日から使える！キャリア教育基礎編＞　所要時間：3時間程度

キャリア教育の基本的事項や学校で行われているキャリア教育について理解します。また、学校組織や高校生への働きかけのスキルUPを行うと同時に、受講者同士の意見交換を元に様々な学校間でのリアルな声、最新のデータに触れています。

テーマ	時間	コンテンツ	内容	運営形式	テキスト台割	頁
◆オリエンテーション（所要25分） 講師・参加者間の交流を促進すると同時に本講習の概要・目的について理解する	9:00～	（・事務局挨拶）	・事務局の挨拶と資料の確認、グループ分けの実施（1グループ内に高校教員と外部専門人材が両者入るようにグループ分けすることが望ましい） ※高校教員には名札にシールが貼ってもらい、判別しやすくする			
	9:05～	・講師自己紹介	・講師の自己紹介		目次	
	9:05～	・講習の趣旨、目的、スケジュールの説明	・講習の目的（キャリア教育の担い手の育成）と背景（キャリア教育をめぐる現状と意義について）を理解する	講義	講習の目的と背景	表紙裏
			・講習スケジュールの説明、基礎編（01キャリア教育と高校～03学校・生徒への働きかけ）の目的・内容の説明	講義	明日から使える！キャリア教育～基礎編～	1
	9:15～	・受講者自己紹介	・グループ内で自己紹介、アイスブレイクを行い参加者同士の連帯感を高め、交流を促進する	グループワーク		
◆01キャリア教育と高校（所要50分） 高等学校の組織やキャリア教育について学び、キャリア教育における外部専門人材への期待や役割を理解する	9:25～	・高校におけるキャリア教育			「01キャリア教育と高校」	
			・キャリア教育のイメージについて話し合い、その後キャリア教育の定義、キャリア教育において育成する能力について理解する	グループワーク→講義	A：キャリア教育の定義と必要性	2
					B：キャリア教育で育成すべき能力	2
			・キャリア教育の歴史、展望（教育振興基本計画や学習指導要領）について理解する	講義	脚注	2
			・高等学校におけるキャリア教育の目標について理解する	講義	C：高等学校におけるキャリア教育の目標と発達課題	2
			・キャリア教育に関わる人材の役割をと機能を理解し、特に、外部専門人材に期待されている役割を理解する	講義	D：キャリア教育に関わる人材の役割と機能	3
	9:55～	・高校の理解	・学校組織体制（進路指導担当者の位置づけ（進路指導担当主導と学年主任主導のパターンを含む）等）や、キャリア教育の実施体制について理解する	講義	E：学校の組織体制	4
			・教員の一日の勤務の流れについて共有する。	個人ワーク→グループワーク	F：高等学校教員の仕事	5
			※高校教員が多い場合は学校ごとの差についても話し合い、共有をする			
◆02高校生への理解（所要45分） 高校生の実態及び高校生を取り巻く社会環境について学び、支援する際の留意事項を理解する	10:15～	・高校生の実態と抱える問題			「02高校生への理解」	
			・参考データを踏まえながら、高校生の実態や抱える問題、さらにそれがキャリア発達に与える影響についてフリーディスカッションを行い、全体で発表、意見を共有する	グループワーク→全体発表	A：高校生の実態	6
			【内容】①高校生の日常（生活・勉強・部活・アルバイト・趣味・家庭環境・ネット・携帯・恋愛等）		参考データ	7
			②高校生の発達課題（いじめ・不登校・中途退学・不登校等）		脚注	7
	10:35～	・高校生の進路状況	・参考データを踏まえながら、高校生の進路状況について各グループで話し合う	グループワーク→全体発表	B：高校生の進路状況	8
			【内容】高校生の進路状況（卒業後の進路、進学率）等、高校生が抱える将来への不安		参考データ	9
			高校生の就職状況（就職率、就職率、離職率）等、高校生の就職活動の流れ			
			※実施地域ごとの詳細データについても適宜使用する		C：高校生の就職環境	10・11
	10:55～	・支援する際の留意事項	・上記を踏まえた上で高校生を支援する際に留意することを理解する	講義	巻末資料（雇用関連データ）	46・47
	11:00～	休憩				
◆03学校・生徒への働きかけ（所要45分） 外部専門人材が学校で支援する際の指導力向上と、学校への効果的な働きかけ方を理解する	11:10～	・学校と外部専門人材の連携			「03学校・生徒への働きかけ」	
			・学校と外部専門人材の連携事例について受講者の経験談などをもとに話し合い、共有する。	グループワーク	A：学校と外部専門人材の連携	12
			・全国で行われている高校と外部専門人材が連携した主な事例について紹介する（職業講話等やキャリアカウンセリング）	講義	事例紹介	13
	11:20～	・学校への働きかけ方	・学校へ働きかける上で、どのような支援をしてみたいか、またどのように学校へ働きかければよいかを考える。	個人ワーク	B:学校への働きかけ	14
	11:35～	・生徒への働きかけ方	・生徒に働きかける際に必要な能力について話し合う	グループワーク	C：生徒への働きかけ	15
			【内容】伝える力・引き出す力・巻き込む力（言葉・態度・印象について）			
			・大勢の生徒に対する効果的なパフォーマンスについて実践し、体験する	グループワーク→全体発表		
			【内容】アイスブレークやミニワークショップ（あてっこゲーム・共通点探しゲーム・握手ゲーム等）			
◆まとめと振り返り（所要5分） 午前中に学んだ内容をまとめ、振り返ると同時に、受講者同士の交流を行う	11:55～	・まとめと振り返り	・午前中に学んだことの振り返りを行う	個人ワーク	第一部で学んだことの振り返り	16
	11:58～	・受講者交流	・受講者同士で交流を行う（名刺交換など）	交流		
	12:00～	休憩・昼食	※時間調整あり			

第二部＜明日から使える！キャリア教育実践編＞　所要時間：5時間半程度

キャリア形成の流れに則り、「自己理解」「社会理解・職業理解」「啓発的経験」「キャリアプランニング」のテーマで授業に使えるコンテンツやワークシート等を実践します。

テーマ	時間	コンテンツ	内容	運営形式	テキスト台割	頁
◆オリエンテーション（所要10分） 講師・参加者間の交流を促進すると同時に本講習の概要・目的について理解する ※背景と絡め、多様な参加者がいることの説明も行う	13:00～	（・講師自己紹介）	・講師の自己紹介　※二部からの参加者がいない場合は〔　〕は割愛する			
	13:02～	（・講習の趣旨、目的の説明）	・講習の目的（キャリア教育の担い手の育成）と背景（キャリア教育をめぐる現状と意義について）を理解する （キャリアコンサルタントをはじめとするキャリア教育にかかわる外部機関や人材についても説明する） ※受講者に教員と外部専門人材がいることの説明	講義		
	13:05～	・午後のスケジュールの説明	・後半部（04自己理解～08まとめと振り返り）部分の内容、目的の説明	講義	明日から使える！キャリア教育～実践編～	17
	13:08～	・（受講者自己紹介）	・グループ分けの実施 ・グループ内で自己紹介を行う	グループワーク		
◆04自己理解（所要85分） 自己理解の意義やポイントを理解するとともにその方法とツールについての知識を習得し、現場で実践できるスキルを身に付ける	13:10～	・自己理解の意義	・自己理解を行うことの意義・目的について理解する	講義	「04自己理解」 A：自己理解の意義と目的	18
			・職業適性について理解する	講義	参考資料	18
	13:20～	・自己理解の方法	・自己理解の方法（やり方・事例）について整理し、経験の共有化を行う	グループワーク→全体発表	B：自己理解の方法	19
			【内容】①振り返り、②インタビュー、③アセスメントツール、その他実体験に基づく事例			
			・上記をまとめ、それぞれの方法で使われているワークシートや事例について共有、実践する	個人ワーク	ワークシート	36・37
			【内容】「自分史シート」「インタビューシート」について共有し、「I amシート」について実践する			
			・自己理解のためのアセスメントツールの種類について理解する	講義	C：自己理解のためのツール	20
			【内容】①適性（一般職業適性検査等）②興味（職業レディネステスト等）③性格（YG性格検査、東大式エゴグラム等）④価値観（キャリア・インサイト）			
			・職業レディネステストを理解した後、結果の例を見て指導の方法を考える	グループワーク→全体発表	レディネステストとは？	21
			・アセスメントツールを使う際の留意点について理解する	講義	脚注	21
	14:35～	休憩				
◆05社会理解・職業理解（所要75分） 社会理解・職業理解の意義やポイント、またその方法やツールについて理解すると同時にキャリア教育を推進する上で知っておくべき雇用情勢、雇用形態等の知識を習得し、現場で実践できるスキルを身に付ける					「05社会理解・職業理解」	
	14:45～	・社会理解・職業理解の意義	・社会理解・職業理解を行うことの意義・目的について理解する	講義	A：社会理解・職業理解の意義と目的	22
	14:50～	・社会理解・職業理解のための知識	・社会理解・職業理解の指導を行う上で参考となる知識について理解する	講義（適宜指名）	B：指導の参考となる知識	22～24
			【内容】雇用情勢・労働法・雇用形態、HWやジョブカフェ等様々な相談窓口		巻末資料	46～51
			雇用形態（正社員とフリーター）の違いについて話し合う	グループワーク→講義		
			※実施地域ごとの詳細データについても適宜使用する			
	15:20～	・社会理解・職業理解の方法	・社会理解・職業理解の方法（やり方・事例）について整理・発表する	グループワーク→全体発表	C:社会理解・職業理解の方法	25
			【内容】①講話、②実体験、③ワーク・調査・インタビュー			
			・上記をまとめ、それぞれの方法で使われているワークシートや事例について共有、実践する	個人ワーク	ワークシート	38～40
			【内容】「仕事研究シート」「学校理解シート」について共有し「職業インタビューシート」について実践する			
			・キャリアマトリックスについて理解する　※リーフレットを配布し、ツールの活用方法を理解する	講義	キャリアマトリックスとは？	25
	16:00～	休憩				
◆06啓発的経験（就業体験・インターンシップ）（所要65分） 啓発的経験（主に就業体験・インターンシップ）について理解し、その方法・手順について学ぶと同時に、生徒を指導する上で必要なマナーを身に付け、現場で実践できるスキルを身に付ける					「06啓発的経験」	
	16:10～	・啓発的経験の意義	・啓発的経験を行うことの意義・目的について理解する	講義（適宜指名）	A：啓発的経験の意義と目的	26
	16:15～	・啓発的経験の方法	・啓発的経験の方法（やり方・事例）について挙げ、整理する	講義	B：啓発的経験の方法	27
			【内容】①就業体験・インターンシップ、②実体験・アルバイト、③ボランティア、④オープンキャンパス等			
	16:25～	・就業体験の実施方法	・啓発的経験の主な手法である就業体験・インターンシップについて理解する	グループワーク→全体発表	C：就業体験の実施方法	28
			【内容】企業開拓・事前指導・マッチング・就業体験・事後指導等について			
	16:45～	・外部専門人材の支援	・高校で行われている啓発的経験（就業体験・インターンシップ）の事例やその際に使われているワークシート等について紹介、共有し、	講義→グループワーク	ワークシート	41
			外部専門人材が活躍できる場について話し合いシートにまとめる			
			【内容】会社研究シート・職場体験日誌			
	17:05～	・ビジネスマナー指導	・就業体験・インターンシップ等の際に必要なマナー指導について理解し実践する	講義→実践	D：就業体験とビジネスマナー	29
			【内容】一般的なビジネスマナー（挨拶（おじぎ）の仕方・座り方・物の受け渡し方等）			
	17:15～	休憩				
◆07キャリアプランニング（所要30分） キャリアデザインについて理解し、その方法について学ぶと同時に、キャリアプランから現在の課題・行動を明確化するためのスキルを身に付ける					「07キャリアプランニング」	
	17:25～	・キャリアプランニングの意義	・キャリアプランニングを行うことの意義・目的について理解する	講義（適宜指名）	A：キャリアプランニングの意義と目的	30
	17:30～	・キャリアプランニングの方法	・キャリアプランニングの方法（やり方・事例）について挙げ、整理する	講義	B：キャリアプランニングの方法	30
			・高校で行われているキャリアプランニングの事例やその際に使われているワークシート等について紹介、共有をする	講義	C：キャリアプランニングの視点	31
			【内容】：「将来デザインシート」「目標設定シート」「ライフプランシート」		ワークシート	42・43
◆08まとめと振り返り（所要35分） 午後に学んだ内容をまとめ、振り返り、自身の行動目標へと落とし込むと同時に、自分のグループ外の受講者との交流を行う					「08まとめと振り返り」	
	17:55～	・まとめと振り返り	・04自己理解～07キャリアプランニングまでの流れを盛り込んだ年間計画について話し合う	グループワーク→講義	A：キャリア形成の流れ	32
			【内容】高等学校「3年間の指導計画」例		「3年間の指導計画」例	44・45
			・明日から実践できる行動計画をまとめる	個人ワーク	B：明日からの行動計画	33
			・第二部の振り返りを行い、キャリア教育の評価（PDSサイクル）について理解する。	講義	第二部で学んだことの振り返りとPDSサイクル	34
	18:30	・受講者交流	・受講者同士の交流を行い（名刺交換など）、アンケートの記載を行う	交流		

（留意点）

※この講習では知識を学びに来るだけでなく、主体的に考え、実践することで、より実践的なノウハウの習得を目的とする。
※この講習では「講義⇒グループワーク⇒意見共有（全体）⇒整理・まとめ」を基本的な流れとし、グループ内で課題・意見を出し合い、解決方法を導き出す「アクションラーニング」を基本とする。
※グループワークが中心となるため、テキストは受講者同士の意見や発表内容を随時書きまとめる形とする。
※会場は集客の見込まれる各県の県庁所在地を中心に実施し、広さや設備に注意し閉塞感のない会場を選定する。
※テキストとは別に各地域における様々な統計データなどを準備し講師から伝達をする。